

報告書

International Society of Exposure Science (ISES)2023 にてポスター発表

8月27日～8月31日にアメリカ合衆国シカゴで開催された International Society of Exposure Science (ISES) 2023 Annual Meeting に参加しました。本学会は、化学物質曝露の分野の科学者を中心とした国際的なコミュニティを通して、公衆衛生と環境保護について情報共有・議論を行う学会です。ISES2023 のテーマは、「Connecting Communities & Science through Addressing Environmental Exposures」でした。

私は、「Development of an analytical method for indoor polycyclic aromatic hydrocarbons and their halogenated derivatives by using thermal separation probe coupled to gas chromatography-tandem mass spectrometry (ガスクロマトグラフ-タンデム質量分析計とサーマルセパレーションプローブを組み合わせた室内多環芳香族炭化水素類およびそのハロゲン化誘導体の分析法の開発)」というタイトルでポスター発表をしました。代表的な大気汚染物質の1つである多環芳香族炭化水素類 (PAHs) とそのハロゲン化誘導体 (XPAHs) は、高い毒性や環境残留性があるため、健康影響が懸念されています。既存の分析方法では、感度が低いため PAHs・XPAHs の分析が困難であり、室内環境における研究例は限られています。本研究では、サーマルセパレーションプローブを用いた新規高感度分析法を開発しました。本法は既存の方法と比べ、最大 906 倍の感度が向上しバックグラウンドレベルの分析が可能となりました。

私は、昨年につき2度目の国際学会参加となりました。昨年は、発表するだけで精一杯でしたが、今回はコミュニケーションや議論もでき、成長を実感しました。色々な国の人と会話したり、発表を聞くことはとても貴重であり、有意義な経験となりました。しかし、まだまだ自分の英語スキルが不十分であることを痛感しました。今後、さらなる向上のため、精進します。

薬食生命科学総合学府 環境科学専攻 博士前期課程2年

大気環境研究室 滝川哲也



